

JAPAN GAME FISH ASSOCIATION

Vol. 45/No.1 SPRING 2024

JGFA NEWS

FRESHWATER, SALTWATER AND FLY FISHING

SECOND TREE-FRIENDLY ISSUE



小菅結香さんインタビュー

Yuka Kosuge Interview

イベントレポート

Event Reports

記録報告

New Japan/World Records

オールジャパン GFC 結果

All Japan Game Fishing Contest

シーバス・フォトコンテスト

and more

熊本県を流れる球磨川の支流、川辺川は、水質検査によるランキングで「日本一の支流」とされています。住宅もほとんどない最上流部を流れる水は青く澄み、この国の渓流の理想的な姿となっており、すばらしい釣りが展開する……とご紹介したいところですが、現実はそれからやや離れつつあります。汚染物質の含有量こそ少ないので、川は小砂利が堆積してしまい、巨岩と奔流が組み合わせられヤマメを育む環境とはズレ始めました。巨大なアユで全国にその名を知られる球磨川流域は、既存の荒瀬ダム撤去という県の大英断によって自然愛好者たちから喝采を浴び、支流に計画されていた川辺川ダムも工事休止（事実上は白紙状態）となっていたのですが、2020年の豪雨被害をきっかけとした政治判断により工事が再開。川沿いにはひっきりなしに土砂を積載したダンプカーが走り、川のあちこちにショベルカーやブルドーザーが入っているという、釣り人なら心を痛める状態が生まれています。渓流釣りも、あまりぱっとしません。

もちろん工事だけではなく鵜の飛来による捕食問題、放流魚の問題、釣り人の持ち帰り量に関する問題など、釣れない理由は複合していると想像できますが、そういう釣り場を体験してみることで、私たちがどのような釣りをしたいのか、どのような生活を求めるのか、確認する機会になろうかと思います。



釣りフェスティバル横浜 フィッシングショーホームへ出展



フィッシングショーOSAKA 2024
2月3日・4日 インテックス大阪

「魚を釣るということを、改めて考えてみませんか?」最新のタックル情報やメソッドが飛び交う釣りフェスの中で、今年のJGFAブースの大きなテーマは「釣りの話をしよう」。物を売る組織ではないJGFAの貴重な財産は人です。人と魚、それら2つの存在を結びつけることが役割です。

釣りの相手である魚の数が減り、大型魚が以前より釣れなくなっている状況で、いま釣り人はどのような意識を持つべきなのでしょうか? 自主的なバグリミットを設ける、適切なリリースを行う、1匹との出会いに満足する……トークショーは、登壇者と来場者の皆さままでそれらと一緒に考える機会と位置づけました。

一方、ブースの恒例である「ノットの破断強度テスト」は今年も盛況。自分のノットがどれくらいの強度を引き出せているか、数字で把握できることの価値は大きいと思われました。ノットの先には魚がいます。強度を最大に引き出すノットテクニックがあればラインブレイクも防ぐことができ、新記録につながるかもしれません。魚とのフェアなファイトができ、それはまさに「人」と「魚」を対等に結びつける要となるかもしれません。

「いい釣りをいつまでも」。このスローガンがJGFAのあらゆる活動を表現しています。私たちはこれから多くの場に出て、皆さまと、これからの釣りの話をしたいと考えています。



JGFA沖釣りサーキット2023年間順位決定！

第4戦：カワハギ大会

- ▼開催日：2023年11月19日(日) 出船8:00 沖上がり13:30
- ▼場 所：神奈川県小網代「丸十丸」 <https://www.marujyumaru.jp/>
- ▼審 査：全長18cm以上のカワハギ3尾の総重量
- ▼ルール：IGFAルールに準ずる(電動リール、クッションゴム不可。ハリ数は2本までなど)
- ▼その他：バッゲリミット(持ち帰り制限)は18cm以上10尾まで
- ▼参加人数：21人(うち女性3名)

【当日の概況】

冬の足音が聞こえ始めた当日、天気は快晴、水温22度。風もそよそよと気持ちよく吹き、富士山もバッチリ見える最高の釣り日和。小網代沖の水深10m～40m付近を狙いました。総勢21名が3尾の総重量を競います。状況は天気とは裏腹に渋く、3尾を揃えることが優勝への条件。それでもカワハギ釣りの醍醐味を味わいながら、船長さんと一緒に和気あいあいと釣りを楽しみました。優勝したのは、良型含め3尾を揃えた浅野俊吾さん！ 肝がパンパンの1尾は見事でした。

- 1位 浅野俊吾 0.85kg
2位 浅野法子 0.75kg
3位 佐々木愛 0.75kg

第5戦：アマダイ大会

- ▼開催日：2023年12月10日(日) 出船7:00 沖上がり14:00
- ▼場 所：神奈川県葉山あぶすり「たいぞう丸」 <https://taizoumaru.com/>
- ▼審 査：全長25cm以上のアマダイ3尾までの総重量
- ▼ルール：IGFAルールに準ずる(電動リール、クッションゴム不可。ハリ数は2本までなど)
- ▼その他：バッゲリミット(持ち帰り制限)は25cm以上7尾まで。他魚種を含め10尾まで
- ▼参加人数：18人(うち女性4名)

【当日の概況】

気温19度、水温17度。べた凧、冬晴れに恵まれ最高の釣り日和で、葉山沖の水深60m～100m付近を狙いました。当日は3尾を揃えることが難しい状況。それでも良型のマハタも釣れるなど、最終戦を参加者全員で楽しみました。そんな中優勝したのは、良型1.10kgを釣り上げた達正明さん！ 昨年2位のリベンジを果たして見事優勝です。

- 1位 達正明 1.10kg
2位 佐々木愛 1.10kg
3位 舟橋夢人 0.95kg

2023年のJGFA沖釣りサーキットは第1戦のマゴチ大会から第5戦のアマダイ大会まで、計5戦すべてが行われ、41名の方のご参加を頂きました。その結果、佐々木愛さん(横浜ビルフィッシュC)が見事優勝を飾りました。おめでとうございます！！



難しいからこそ面白い！ 天気も最高でした



カワハギ大会では野菜セットも副賞に…



やや渋めの食いながら、良型のアマダイ、マハタなどが登場！



これにて沖釣りサーキット5戦すべて終了です

2023【JGFA沖釣りサーキット】最終順位

順位	選手名	所属	5/28マゴチ	9/24タチウオ	10/22ヒラメ	11/19カワハギ	12/10アマダイ	合計ポイント
1	佐々木愛	横浜ビルフィッシュC	1	8	9	9	10	37
2	伊達志織	マーメイドAC	10	11	7	1	1	30
3	福永雄海	横浜ビルフィッシュC	11	9	4	2	3	29
4	浅野俊吾	ファミリー会員		4	5	11	6	26
5	浅野法子	ファミリー会員		3	2	10	8	23

第39回東京ベイ・シーバス・ゲームフェスティバル

- 開催:2023年11月12日(日)
- 会場:神奈川県横浜・新山下 RE:JOURNAL(釣り場は東京湾一帯)
- 主催:東京ベイ・シーバス・ゲームフェスティバル実行委員会
- 後援:JGFA
- ルール:IGFA ルール。オールタグ&リリース、バープレスフック採用
- 参加:12 チーム48名

例年のイベントとして長い歴史を持つ大会が開催されました！ パーティー会場として横浜・新山下の RE:JOURNALさんをお借りして、12 チーム総勢 48 名のシーバスアングラーが集まってくれました。

39年間、事故なく当フェスティバルを継続開催できているのは、ボートのキャブテン並びに参加選手ひとりひとりの非常にレベルの高いスキルのおかげでもあるとともに、企業様のご理解とご支援の賜物と心から感謝いたします。シーバスゲームは日本各地で確立されつづかり、また釣具の発展やアングラーの新しい発想により、様々なスタイルやパターンが生まれてきました。日本が世界に誇れるゲームフィッシングといっても過言ではないかと思われます。

私たちはシーバスフィッシングを次の世代につなげる為に、資源に影響を与えることなく科学的データを蓄積できるタグ&リリースやキャッチ&リリース、魚にやさしいバープレスフックの提唱などを行ってまいりました。これからも初心を忘れず、東京湾のスズキの資源を末永く維持して、素晴らしい釣りをいつまでも続けていきたいと思います。さらに、釣りや海上でのマナーを伝えていきたいと思いますので、ご支援・ご協力並びにご参加のほどをよろしくお願い申し上げます。

(報告:東京ベイ・シーバス・ゲームフェスティバル事務局)



スズキを愛し、将来を考えるアングラーたちが結集！



標識放流が提供してくれるデータは貴重です。釣り人ができる貢献

今日も楽しませっから!

小菅結香さんと家業、釣りのこと



機会均等とジェンダーフリーの世の中であるが、まだまだ女性キャプテンやフィッシングガイドは少数。

そんな中で注目を浴びるのが、三浦「丸十丸」で若船長を務める小菅結香さんだ。

三姉妹の真ん中、かつては水商売の世界に身を置いた人が見据える、サービスとしての船長業とは?



JGFA(以下JG):先日は、お姉様(小菅綾香さん)とご一緒にJGFAのブースでプレゼンテーションをありがとうございました。

小菅結香(以下KY):いいえ~! とっても面白かったです、お客様もたくさんいらしていただいて。

JG:とても勉強になりました。今回のインタビューはその続編といいますか、見本市会場に来られなかったJGFA会員の皆様も、ご家族が取り組んでいらっしゃる内容をお伝えすることをもくろんでいます。なにとぞです。

KY:わかりました。

JG:つり人オンラインで週間連載されている「ゆかび船長の『今日も釣れっから!』」を読ませて頂きました。とてもおもしろいですね、釣り人と船頭さんの関係がうまく切り取られていて

ると感じました。

KY:私を現物より美しく描いていただいて、感謝しています(笑)。作家さんは女性で、何度かお子様連れで取材に来て頂きました。

JG:そもそも、あいう漫画をやりましょうというのは、つり人社さんからのご提案で?

KY:そうなんです。

JG:キャプテンが同性ということで、丸十丸へ釣りに来る女子は増えましたか?

KY:前よりは多いです。とくに増えたのは若い層ですね。父のお客さんだと、50代から上が主だったんですが、私の船では20代から40代がメインなんです。

JG:船頭さんといっしょにお客さんも年が上がっていく、というはあるでしょうね。年齢差がありすぎると抵抗を感じる人がいるかもですし。

KY:「船長=コワイ人」っていう先入観が、多くの人にあるみたいですね。

JG:丸十丸さんがやっていることというのは、他ではまだそれほど顕在化していないと思うのです。女子キャプテンですし、「たくさん釣る人がエライ」主義はとおの昔に否定されていますし、初心者にもやさしい船宿というイメージです。お父上、またお姉さんとの情報共有というか、運営面での打合せなどはひんぱんにされているんですか?

KY:父とは、あんまり情報共有はしていないかな(苦笑)。最近は、あんまり口を利いていないんですよ……。しかし姉とはよく話します。取材で行つたいろいろな場所の情報をくれますし、魚資源の現状について説明をしてくれます。

JG:高校は水産高校に通われたということですが、漁業、養殖とかを勉強されたんですか?

KY:科がいろいろとあります、まずは遠洋航海に出るコースと出ないコースに分かれます。私はさいしょ「出ない」一般コースにいたんですが、2年目に「出る」ほうの船舶運航コースというものに転科し、まぐろはえ縄漁をやりながら3ヶ月ほど船上生活をしました。このコースは機関系と航海系に分かれていて、私は前者でした。姉は海図を見て航路を決めるなど、ブリッジのほうをやっていました。

JG:もともと、ものを動かすということに興味はあったんでしょうか?

KY:乗り物は好きでしたよ。だから、フェスをやるんだったらエンジンだと思いました。でも受験願書を出す前日までは、制

服のかわいい普通高校を志望していたんですよ。家業が格好悪いという気持ちもあったんで。

JG:前日?!

KY:その夜に、三崎にあるスナックのママに呼び出されて説教でした。地元がここで、家業がこれなのに、なに普通高校に行こうとしてるんだ、って。最後の親孝行をしろと説得され、翌日に水産高校の願書を出しました。

JG:でも行ってみたら楽しかったと?

KY:そうですね、過ぎ去って振りかえればよい思い出でした。男子が圧倒的に多い限られた世界で、同級の女子は彼氏を作っていましたが、私は友達でしかなかったです。乗り組んでいたフネのボイラー室では円陣を組んで、泣きながら筋トレしたり。私はいつさい船酔いしないんで、同級生の具合が悪くなってしまうと励まし役でした。

JG:どんな男女比だったんですか?

KY:クラス35人中、女子2人という割合でした。モテると思ったんですけど現実は違いました。準・男子扱いです。友情は芽生えました。

JG:それはそれで、快適だったでしょう? 高校を出たら、水商売の世界に入られるんですよね?

KY:はい、横須賀とか横浜のお店に勤めました。18のときに家を出て、22までよそで暮らしてましたので、家業はほとんど手伝っていないんです。海は好きでしたけど釣りがとりたてて好きっていうこともありませんでした。

JG:一瞬で、考え方というか、人生のプランが変わったというわけなんですか?

KY:大きなきっかけは、テレビのロケなんですよ。私はずっとテレビ、新聞、雑誌など出ないことに決めていて、どうしても手伝いをするときも顔は出さないというお約束でやっていたのですが、船宿三姉妹を取り上げたいという企画があり、最初は断ったんですがディレクターさんがしつこい人で。

JG:ははは。

KY:私の務めているお店まで来られて、ご指名いただいた後に「1回だけでいいので出てください」と頼まれました。ですから仕方なく、千鳥のノブさんがやっていらした「大漁JAPAN」という番組に出たんです。姉と妹、そして父と釣りに出かけたのが実はちょっと楽しくて、それ以降は意識するようになりました。ロケは2回目もやったのですが、その頃には私も22歳、水商売もそろそろかな…1つの仕事を極めたいなと思っていました。そうなると、実家に戻るのがいちばんラクなんですね。やりたいようにできるし、まったく慣れていない現場でもない。そう思って、母親に打診してみたんです、父には口止めをする約束で。で、1月2日に「明けましておめでとうございます」で自宅に戻りました。

JG:ゆか船長が使えるフネはあったんですか?

KY:うちは3隻稼働なんですよ。でも私はまだ操船もうまくなければ、船舶免許も持っていないから、まず1年間は中乗りでした。その夏にいろいろな資格や免許を取って、2年目から本腰を入れて船長になりました。

JG:お父さまも内心、とても喜ばれたでしょうね。



KY:内心どころではなかったですね。それまで自慢のタネは、国立大の大学院まで行って、きちんと就職した姉(綾香さん)だけでしたけれど、私が戻って2年間くらいは私の自慢しかしていなかったです。

JG:プロのキャプテンとして、海環境は年を追うごとに変わってきてていると思われますか?

KY:私は今年で4年目ですが、この短い中でも違いますよ。水温が冬も下がらないです。冬の釣りなんて普通、素手で触るのもいやなくらいオモリが冷たくなるんですが、最近は「暖かい…」って感じがするとおっしゃるお客様が多いです。

JG:釣り人でないとわからない、ホントの実感ですね。

KY:そうですよ!

JG:もちろん自然環境は変化するのが自然なんですけれど、ヘンに変わってきたという実感は、現場でないと持てないでしょうね。魚の釣れ方はどうなんですか?

KY:狙っている種類によるのかもしれないんですけど、昔よく釣っていたものは少なくなっています。うちもいまはカワハギのシーズンですが、かつて一束(100尾)釣れることもあったのが、最近は「ツ抜け」つまりふた桁に到達すれば上等という感じです。それに対比する形で、ハタの仲間は増えています。

JG:大阪のショーで、協会の名誉会員も務めてもらっている串本の宇井晋助さんにお話をもらつたのですが、彼も磯焼けの問題、海藻の減少、カサゴの減少、アカハタの増加などが顕著ですとおっしゃっていました。

KY:じつは、港の中に魚がたくさんいる傾向があると思います。メバル、カサゴ、クロダイ、アジ、カマスなどですけれど、食べ物と隠れるところがたくさんあって、適水温だからですかね。港を出た方が生体反応が薄く、釣れないというヘンな感じですよ。港のなかに入ってきた魚が、なかなか抜けていかないです。でも港の中に生えているワカメは、芽株を除き、葉は嚼られてなくなっていますよ。アイゴかなにかがたくさんいるんでしょうか。

JG:だからこそ、釣り人がその変化をさらに悪化させる方向

今日も楽しませつから！ 小菅 結香さんと家業、釣りのこと



にしないように注意しないといけないですね。お客様の意識が変わってきてる実感はありますか？

KY:以前は私も、クーラー満タンに釣ってもらいたいタイプでした。でも、現実的にそれが難しくなってきました。私はそこから入って、環境に目を向けるようになったんですけど、うちのお客さんもそれほど釣果にこだわりがない人が多いですね。1尾1尾との出会いを大事に考えて、自分たちにできることを想像してくれる皆さんです。自然環境の変化をまず実感してもらつたうえで、先を考えてくれています。スーパーには、高くなっているものの魚は並んでいますから、どれだけ減っているのか、環境が変わっているのか実感はないですよね。

JG:なるほど。

KY:長くこの遊びを続けたい、子供らにも楽しんでほしいと思うなら、小さいのは逃がしてあげようというのは普通の流れでしょう。

JG:釣り船で、人が一列に並んで竿を出していると、おのずと競争が生まれてしまいますよね。いきおいで皆が頑張っちゃって、トータルするとものすごく真面目に水揚げを重ねてしまうという。でも船頭さんがペース配分というか、スローダウンする声をかけてくれると、お客様もそれに従つてくれそうですね。仕事みたいに釣らなくてもいいんだ、って再確認してもらえる。

KY:船の雰囲気作りは大事です。私もたまに他の船宿さんへ遊びに行くんですが、自分の必要な量を釣ってしまうと「もうじゅうぶん」と思っちゃいます。でも、何やってんだもっと釣れよと声を掛けてくる船頭さん、中乗りさん、釣り人はやっぱりいます。もちろん、昔は私もそうだったんで……でも私の船では、じゅうぶん釣って満足している常連さんには、初心者にちょっとアドバイスしてもらったりもしますよ。

JG:船中コミュニティ作りですね。

KY:はい。あんまり素性もしない人に、釣り船で出会うのって楽しいじゃないですか。丸十丸主催でバーベキューをやつたりもしています。うちのお客さんは、ふれあいにも積極的ですよ。私は過保護船頭なので、お客様もそれを補助してくれる感じはあります。オマツリとかすると、私は「気にしないで、いま手伝うから」とブリッジから出て行って助けてあげるんですが、常連さんたちも同じことをやってくれるようになります。お金を払ってくれるお客様なんですね！ 一日中、なりふりかまわず釣りに集中したい、っていう人はそれほど多くないです。

JG:フネぜんたいの雰囲気がそうなると、来た人も影響を受けていくんですね。

KY:私の船だけかもしれませんよ、父の船は知らないので。

JG:現場でのフネの雰囲気が各人に影響して、行動修正が自動的に生まれるというのは、有名釣り人たちやテレビ番組などがお題目を並べるのとはまったく違うと思います。いろんな釣り船にも影響が及べばいいですね。

KY:そうですよね、及ぼせていいみたいです！ 古い人たちの中には、正直に言ってネガティブな人もいます、なぜなら良い時代を体験しちゃってて、いつも比較しているから。私は、い

まのカワハギ釣りだったらツ抜けしたら御の字だと思っていましたよ、帰りも大盛り上がりです。でも他の船から「今日は釣れねえや」とか無線が入ることがあるんです。でも、私の船よりも釣れている(笑)。それってもったいないですよね! 雰囲気だいで、お客様も楽しんでもらえるのに……。

JG:基準の話だ。基準って、言ったもの勝ちというところがありますよ。100尾をノーマルにするのか、10尾にするのかで、まったく気持ちが違うはずです。

KY:私のお客様は、10枚でスキップして帰ります。

JG:釣りって、それほど手軽に始められる遊びではないですよ。そんな中でせっかく始めた人に、とてつもない高さの階段2段目を見せてしまうと、ちょっとかわいそうです。

KY:あたりまえの言い方ですが、楽しくない釣りっていやですよ。頑張ったと思っているのに「ぜんぜんダメ」って言われるとつらいなあ。

JG:「これが楽しいんだ!」って押しつけるのはよくない。

KY:首都圏に住んでいる人であれば、海に出るだけで楽しいかもしれませんし。「いま釣れていないですよ」と言つても「川じゃダメなんです…来週からの仕事が頑張れないんです」と足を運んでくれる人がいます。若者の意識も変わってきていて、難しいことがおもしろいと考える傾向が見えます。

JG:ということは、カワハギはチャレンジ釣りなんですね。

KY:そうなんです。もう、仕掛けを下ろせばすぐ釣れるっていう魚ではないです。

JG:チャレンジの釣りとして、他にはどんな対象魚が? アマダイとかですか?

KY:じつは比較的釣れますし、いろんな魚が混ざるので、ビギナーさんに勧めているのがアマダイ釣りです。

JG:そうですか!

KY:ギャンブル的な釣りであれば泳がせヒラメ。夏、あちこちからカツオ船が入ってくるタイミングで佐島などにイワシのいけすが作られますから、そこからうちも購入して泳がせ釣りができるようになります。でも1日まったくアタリなしという可能性もあるので、置き竿にしてぽかーんと時を過ごせる人には向いています。私は個人的にはこれが大好きで、ボウズあたりまえ、でも掛かったときはそのぶん楽しいという釣りです。一昨年は、10回出て、その10回目に釣れたお客様もいました。

JG:精神修行。

KY:ヒラメ釣りはドラマができます。私が中乗りをやっていたとき、中学生の男の子がお父さんと来てくれました。手さばきもいいですし、別に私が教えることもないくらいで、その子が大きいのを掛けたんです。ぐんぐん突っ込まれてるけど我慢してうまく寄せて、私がタモを構える。重い木のやつじゃなくて、私も持ちやすいアルミのタモでした。見えた魚はあきらかに6~7キロあったのですが、私はタモ入れに自信があったので、頭からざくっと掬いました。でも全体が入りきれなくて、尾びれが出ちゃってる。そしたら竿と柄のちょうど継ぎ目のところをバチンと尾びれパンチされて、一撃でぼっきり折っちゃったんですよ!

JG:叩いて折られたんですか、すごいな……

KY:そのまま糸が切れて、網ごと沈んでいきました。もう放心です。そしたら父がめったに出てこないブリッジからずっと出てきて、少年の肩を叩いて「ごめんな」って言ったんです。それもまた衝撃でした。

JG:ですね。

KY:少年がまたできた人間で「顔見れただけでうれしかったです、ありがとうございました」って。その場で泣きそうになりましたが我慢して、帰って泣きました。ヒラメの姿も、少年の顔も、一生忘れないです。釣り上げはできなかったですが、少ない出会いだからこそ感動だったと思います。

JG:私よりも少年のほうが、ずっと大人だということもわかります。絶対そんな言葉は出てこない、せいぜい黙り込むくらいですよ。

KY:私も彼の立場であればムリです! その魚は釣り上げられませんでしたが、同等の感動を感じてもらえるような環境作りをしていきたいです。

JG:船頭さんは体験プロデューサーなんだ、やりがいがありますね。これから丸十丸さんは、どう変化していくんですか?

KY:親しみやすい雰囲気は保ちたいです。うちは古いところですし、そもそも船釣りはすこしハードルが高いという感じを持たれるかもしれないんですけど、初めての人でも、子供連れでも来やすい船にしたいですね。そのうえで、来た人たちの心に楽しい思い出を刻みたいと思っています。ぴりぴりしたコワイ雰囲気の船も多いみたいですね……海にでることは危険と隣り合わせでもあります、周りの人が助けてくれないと、その危険を回避することも難しくなるでしょう?

JG:親しみやすさは求められていると思います。エキスパート以外はきちゃだめ、っていうと、仕事としても絶対に先細りになるのは見えていますし。さて、この冬は私もカワハギ修行に行きたいと思いますので、なんとか「ツ抜け」させてください。

KY:なかなか厳しいですよ、楽しいけど!



NEW JAPAN RECORD GALLERY

WR =世界記録 CR =キャッチ&リリース TR =タグ&リリース AL =オールタックル・レンジス記録 FAL =オールタックル・フライ・レンジス記録 W =女性 J =ジュニア 記録

※アカメ、イトウなどの環境省レッドデータブック記載種は、リリース前提での記録申請受け付となります。

※コクチバスなどの外来魚の申請は外来生物法の規定にそって受け付けます。外来生物法では規定していないキャッチ&リリースについては、各都道府県でこれを禁じている水域もあり、持ち出しを禁止しているケースもありますので、これらに従うことといたします(2016年7月5日JGFA理事会決定)。

※タイリクズスキに関しては、オールタックル部門および10ポンドシーバスクラブ、年間フィッシングコンテストの対象として申請を受け付けることになりました(2020年4月1日より)。

お願い: 記録申請時は、書類、紙焼き写真とともに高画質の写真データもご提出を!

大型魚のデータをできるだけ正確に保存するためですので、ご協力をお願いいたします。メディアの形は問いません。

OFF SHORE <船からの釣り>

<シロカジキ> MARLIN, black / *Makaira indica*

●M-24kg(50lb)クラス ●264.20kg ●三重県大王崎沖 ●2023/8/26 ●白木 孝幸 ●レギュラー会員 ●中日本Mahalo

<シロカジキ> MARLIN, black / *Makaira indica*

●M-15kg(30lb)クラス ●91.10kg ●長崎県壱岐沖玄界灘 ●2023/11/26 ●木寺 寛祐 ●チーム海藍 ●ポセイドン号

<マゴチ> MAGOCHI / *Platycephalus sp.*

●M-4kg(8lb)クラス ●1.45kg ●三重県津市海岸沖 ●2023/11/5 ●矢田 圭 ●レギュラー会員 ●ホビーリンクス

<バショウカジキ> SAILFISH, pacific / *Istiophorus platypterus*

●W-15kg(30lb)クラス ●34.90kg ●鹿児島県阿久根沖 ●2023/9/10 ●石志 梢 ●チームアルカディア ●アルカディア

W

<オオニベ> MEAGRE, japanese / *Argyrosomus japonica*

●W-10kg(20lb)クラス ●0.60kg ●千葉県飯岡沖 ●2023/10/22 ●佐々木 愛 ●横浜ビルフィッシュクラブ ●第18隆正丸

W



木寺 寛祐 <シロカジキ 91.10kg>

初めてのカジキとのファイトでドキドキでしたがランディング出来て良かったです。揚がってきた魚の大きさに感動しました!



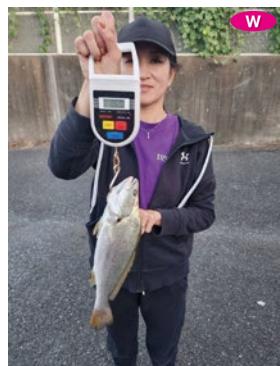
矢田 圭 <マゴチ 1.45kg>

SUPでのキャスティング、ピックアップ前の最後のフォーリングで



石志 梢 <バショウカジキ 34.90kg>

抜群のコンビネーションプレー、アルカディア ONE TEAM!



佐々木 愛 <オオニベ 0.60kg>

沖釣りサークルのヒラメ大会で釣れました!

SHORE <岸(磯)からの釣り>

<ボラ> MULLET, striped / *Mugil cephalus cephalus*

●M-6kg(12lb)クラス ●3.57kg ●広島県安芸郡海田町瀬野川 ●2023/10/22 ●田村 紘一 ●レギュラー会員

CR

<ボラ> MULLET, striped / *Mugil cephalus cephalus*

●M-8kg(16lb)クラス ●2.34kg ●広島県安芸郡海田町瀬野川 ●2023/9/23 ●田村 紘一 ●レギュラー会員

CR

<ボラ> MULLET, striped / *Mugil cephalus cephalus*

●M-2kg(4lb)クラス ●2.93kg ●広島県安芸郡海田町瀬野川 ●2023/9/24 ●田村 紘一 ●レギュラー会員

CR

<サワラ> MACKEREL, japanese spanish / *Scomberomorus niphonius*

●M-1kg(2lb)クラス ●0.73kg ●青森県野辺地町 ●2023/11/4 ●前田 穂 ●レギュラー会員

<クロダイ> PORGY, black / *Acanthopagrus schlegeli*

●W-2kg(4lb)クラス ●0.89kg ●広島県太田川放水路 ●2023/11/4 ●山本 蒼美 ●レギュラー会員

CR W

<クロダイ> PORGY, black / *Acanthopagrus schlegeli*

●W-1kg(2lb)クラス ●0.75kg ●広島県太田川放水路 ●2023/11/4 ●山本 蒼美 ●レギュラー会員

CR W

<クロダイ> PORGY, black / *Acanthopagrus schlegeli*

●W-10kg(20lb)クラス ●1.47kg ●広島県太田川放水路 ●2023/11/12 ●山本 蒼美 ●レギュラー会員

CR W



田村 紘一 <ボラ 3.57kg>
見切られ続け、5週目で食いました



前田 穎 <サワラ 0.73kg>
初めての2lbでの記録申請です。ファイト中はヒヤヒヤでした



山本 蒼美 <クロダイ 1.47kg>
浅瀬でボラを狙っていたのですが、潮が下がってチヌが釣れてしまった

SALTWATER FLY FISHING <海水のフライフィッシング>

<ツムブリ> RUNNER, rainbow / *Elagatis bipinnulata*

●M-8kg(16lb)クラス ●3.62kg ●高知県宿毛市沖の島 ●2023/9/23 ●福田 高志 ●レギュラー会員

CR

<ブリ> BURI(Japanese amberjack) / *Seriola quinqueradiata*

●M-6kg(12lb)クラス ●3.85kg ●兵庫県神戸市灘区沖 ●2023/5/10 ●河本 行弘 ●レギュラー会員 ●RIPTIDE

WR TR

<ブリ> BURI(Japanese amberjack) / *Seriola quinqueradiata*

●M-3kg(6lb)クラス ●3.00kg ●兵庫県神戸市神戸港 ●2023/5/4 ●和氣 恒久 ●サバロ ●RIPTIDE

WR CR

<ブリ> BURI(Japanese amberjack) / *Seriola quinqueradiata*

●M-2kg(4lb)クラス ●3.25kg ●兵庫県神戸市神戸港 ●2023/5/13 ●和氣 恒久 ●サバロ ●RIPTIDE

WR TR



福田 高志 <ツムブリ 3.62kg>
ペイトが水面を走ったのでキャストするとうまく掛けることができました。引きが強く、ヒレが黄色かったのでヒラマサかと思いました



河本 行弘 <ブリ 3.85kg>
ナブラ打ちでキャッチする事が出来ました。元気に海に帰ってくれたのがうれしかったです



和氣 恒久 <ブリ 3.25kg>
23年前にとった自分の記録は小さかったのずっと更新を狙っており、今年はチャンスだと考えてチャレンジしました。大変嬉しい思います

ALL TACKLE <オールタックル日本記録>

<アセウツボ> MORAY, paintspotted / *Gymnothorax pictus*

●オールタックル ●1.65kg ●沖縄県宮古島友利博愛漁港 ●2023/9/30 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<イトヒキオキハギ> TRIGGERFISH, hairfin / *Abalistes filamentosus*

●オールタックル ●1.15kg ●鹿児島県喜界島手久津久沖水深50M ●2023/9/30 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●天人菊

WR W

<イヤゴハタ> GROPER, dot-dash / *Epinephelus poecilonotus*

●オールタックル ●8.64kg ●東京都神津島・銭州海域 ●2023/9/23 ●高沼 祥 ●レギュラー会員 ●とび島丸

WR

<キツネベラ> HOGFISH, tarry / *Bodianus bilunulatus*

●オールタックル ●0.93kg ●鹿児島県喜界島中熊沖水深40M ●2023/10/9 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●天人菊

WR

<キヘリモンガラ> TRIGGERFISH, yellowmargin / *Pseudobalistes flavimarginatus*

●オールタックル ●3.50kg ●鹿児島県奄美大島国直海岸 ●2023/10/19 ●重武 凪 ●ファミリー会員

WR =世界記録 CR =キャッチ&リリース TR =タグ&リリース AL =オールタックル・レングス記録 FAL =オールタックル・フライ・レングス記録 W =女性 J =ジュニア記録

<ゲンゴロウブナ> GENGORO-BUNA / *Carassius cuvieri*

●オールタックル ●2.40kg ●神奈川県芦ノ湖 ●2023/5/11 ●奥山 文弥 ●フィッシュ&フィンズ

WR CR

<シロカジキ> MARLIN, black / *Makaira indica*

●オールタックル ●264.20kg ●三重県大王崎沖 ●2023/8/26 ●白木 孝幸 ●レギュラー会員 ●中日本Mahalo

<ツッパリサギ> SILVER-BIDDY, strongspine / *Gerres longirostris*

●オールタックル ●0.90kg ●沖縄県宮古島市 ●2023/4/10 ●佐々木 好二 ●レギュラー会員

WR CR

<ハナビラウツボ> MORAY, whitemouth / *Gymnothorax chlorostigma*

●オールタックル ●0.90kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

<ハマダツ> NEEDLEFISH, flat / *Ablennes hians*

●オールタックル ●1.00kg ●沖縄県残波岬 ●2023/10/29 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<ヒブダイ> PARROTFISH, blue-barred / *Scarus ghobban*

●オールタックル ●0.94kg ●沖縄県宮古島友利博愛漁港 ●2023/9/30 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<ヒブダイ> PARROTFISH, blue-barred / *Scarus ghobban*

●オールタックル ●2.11kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

WR

<ヒラニザ> SURGEONFISH, elongate / *Acanthurus mata*

●オールタックル ●1.40kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

WR

<ヒレタカツノザメ> SPURDOG, shirai's / *Squalus shiraii*

●オールタックル ●1.34kg ●鹿児島県奄美大島大島海峡東沖水深260m ●2023/9/24 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●みなみ丸II

WR

<マルクチヒメジ> GOATFISH, gold-saddle / *Parupeneus cyclostomus*

●オールタックル ●1.45kg ●鹿児島県喜界島手久津久沖水深60M ●2023/9/29 ●浅野 俊吾 ●ファミリー会員 ●天人菊

WR

<ミナミハコフグ> BOXFISH, yellow / *Ostracion cubicum*

●オールタックル ●0.94kg ●鹿児島県奄美大島名瀬港 ●2023/9/8 ●重武 凪 ●ファミリー会員

WR

<ユカタハタ> HIND, coral / *Cephalopholis miniata*

●オールタックル ●0.90kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

<ウチワフグ> PUFFER, threetooth / *Tetronarce macropterus*

●オールタックル ●1.15kg ●鹿児島県沖永良部島伊延港沖水深175m ●2023/11/5 ●浅野 俊吾 ●ファミリー会員 ●第二なぎざ丸

<アマミフェフキ> EMPEROR, trumpet / *Lethrinus miniatus*

●オールタックル ●1.65kg ●鹿児島県喜界島手久津久沖水深60M ●2023/10/26 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●天人菊

W

<アオスジモンガラ> TRIGGERFISH, blueline / *Xanthichthys caeruleolineatus*

●オールタックル ●0.85 kg ●鹿児島県沖永良部島伊延港沖水深60m ●2023/11/3 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●第二なぎざ丸

W

<モンガラカワハギ> TRIGGERFISH, clown / *Balistoides conspicillum*

●オールタックル ●0.90kg ●鹿児島県喜界島手久津久沖水深60M ●2023/10/26 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●天人菊

W

<オジロバラハタ> LYRETAIL, white-edged / *Variola albimarginata*

●オールタックル ●1.25kg ●鹿児島県喜界島手久津久沖水深60M ●2023/10/28 ●浅野 法子 ●ファミリー会員 ●天人菊

W

<チャイロマルハタ> GROUPER, orange-spotted / *Epinephelus coioides*

●オールタックル ●22.89kg ●鹿児島県鹿屋市高須沖 ●2023/10/7 ●米澤 敬 ●ファミリー会員 ●あき丸

<クサヤモロ> SCAD, mackerel / *Decapterus macarellus*

●オールタックル ●0.67kg ●東京都新島村羽伏浦漁港 ●2023/10/9 ●三好 健斗 ●ジュニア会員

<コバンアジ> DART, small spotted / *Trachinotus baillonii*

●オールタックル ●0.46kg ●東京都新島村羽伏浦漁港 ●2023/10/8 ●三好 健斗 ●ジュニア会員

<タテジマキンチャクダイ> ANGELFISH, emperor / *Pomacanthus imperator*

●オールタックル ●0.48kg ●鹿児島県奄美大島古仁屋港 ●2023/11/24 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<ウメイロ> SNAPPER, yellowtail blue / *Paracaelio xanthura*

●オールタックル ●0.91kg ●鹿児島県奄美大島加計呂麻島沖 ●2023/11/25 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●みなみ丸 II

<ホオアカクチビ> EMPEROR, spotcheek / *Lethrinus rubrioperculatus*

●オールタックル ●1.30kg ●鹿児島県喜界島手久津久沖水深60M ●2023/10/28 ●浅野 俊吾 ●ファミリー会員 ●天人菊

<オキザヨリ> Houndfish / *Tylosurus crocodilus*

●オールタックル ●3.62kg ●鹿児島県屋久島町尾之間 ●2023/12/6 ●原 宗一郎 ●Jim's Salon Members

CR

<オジロバラハタ> LYRETAIL, white-edged / *Variola albimarginata*

●オールタックル ●1.25kg ●鹿児島県喜界島荒木沖 ●2023/12/24 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●LEON II

<テンジクイサキ> CHUB, blue sea / *Kyphosus cinerascens*

●オールタックル ●1.80kg ●鹿児島県喜界島荒木海岸 ●2023/12/23 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR

<ミンサーフエフキ> EMPEROR, drub / *Lethrinus ravus*

●オールタックル ●0.83kg ●鹿児島県奄美大島加計呂麻島沖 ●2023/11/25 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●みなみ丸 II

<キュウセンフエダイ> SNAPPER, yellow-lined / *Lutjanus rufolineatus*

●オールタックル ●0.62kg ●鹿児島県奄美大島加計呂麻島沖 ●2023/11/25 ●坂本 幸博 ●終身会員 ●みなみ丸 II

<モンガラカワハギ> TRIGGERFISH, clown / *Balistoides conspicillum*

●オールタックル ●0.80kg ●鹿児島県口永良部島 ●2023/9/16 ●坂本 幸博 ●終身会員

CR



高沼 祥 <イヤゴハタ 8.64kg>
水深110~120m、着底後5巻き程度でヒット



重武 凪 <キハリモンガラ 3.50kg>
かなりひいたのでびっくりした



奥山 文弥 <ゲンゴロウブナ 2.40kg>
日本の文化的な魚なので、JGFAのラインクラス 対象魚として受け入れられ、記録を保存することが望ましいと思います。この魚はリベラ(リールヘラブナ)釣りの際に現れたのをフライで仕留めました



白木 孝幸 <シロカジキ 264.20kg>
地元のローカル大会での釣果です



佐々木 好二 <ツッパリサギ 0.90kg>
フライをキャストしリトリーブしたらゴツンときて竿を立てました。釣れたのは見たことがない銀色に輝く、美しい魚でした



重武 凪 <ヒラクニ 2.11kg>
かなりひいた



浅野 俊吾 <ウチワフグ 1.15kg>
ヒットしたときはただ重いだけで、お祭りにあいながらも取り込めました



浅野 法子 <アマミエフキ 1.65kg>
底であたって強い引き込みが続き、取り込めた時はホツとしました



米澤 徹 <チャイロマルハタ 22.89kg>
シーズンも終盤に差し掛かり、ダメ元でのチャレンジでした



三好 健斗 <クサヤモロ 0.67kg>
強烈な引きで、パラシそうでしたが、落ち着いてランディングまでがんばりました



坂本 幸博
<タテジマキンチャクダイ 0.48kg>
壁際で小さなアタリ。3度目でヒットし、用心深くタモを用いてランディング。英名がエンペラー!



原 宗一郎
<オキザヨリ 3.62kg>
サラシが一面広がる中、ひったくられるアタリ。下に引き込まれカスミアジかと思いましたが、海面に出てきたときに初めてオキザヨリと分かりました



坂本 幸博 <テンジクイサキ 1.80kg>
3度目の正直、力強い引きと攻防し水面に浮かせることに成功。短期勝負でしたが、その時間は長く感じました

ALL TACKLE LENGTH RECORD <オールタックル・レンジスレコード>

<ハクレン> CARP, silver / *Hypophthalmichthys molitrix*

●レンジスレコード ●89cm(叉長) ●埼玉県荒川 ●2023/10/13 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

AL CR

<ボラ> MULLET, striped / *Mugil cephalus cephalus*

●レンジスレコード ●59cm(叉長) ●広島県太田川放水路 ●2023/11/4 ●山本 蒼美 ●レギュラー会員

W AL CR



竹内 尚哉
<ハクレン 89cm(叉長)>
吸込み仕掛けで挑み、渋い中ヒット! 平均サイズより大きいので計測すると、泣きメーターな全長97cm、叉長は89cmでした



山本 蒼美
<ボラ 59cm(叉長)>
体感5分、実際は15分が格闘時間です。可愛い顔して手こずらせてくれる

ALL TACKLE FLY LENGTH RECORD <オールタックル・フライ・レンジスレコード>

<カムルチ> SNAKEHEAD / *Channa argus*

●フライ・レンジスレコード ●78cm(全長) ●佐賀県佐賀クリーク ●2023/4/19 ●斎藤 悅朗 ●鉄心俱楽部

WR FAL CR

<ブリ> BURI(Japanese amberjack) / *Seriola quinqueradiata*

●フライ・レンジスレコード ●70cm(叉長) ●兵庫県神戸市灘区沖 ●2023/5/4 ●河本 行弘 ●レギュラー会員 ●RIPTIDE

WR FAL TR

<コイ> CARP, common / *Cyprinus carpio*

●フライ・レンジスレコードド ●77cm(叉長) ●東京都浅川 ●2024/1/4 ●三上 隼平 ●フィッシュ&フィンズ

FAL CR



斎藤 悅朗
<カムルチ 78cm(全長)>
素晴らしいヘッドシェイクがたまりませんでした



三上 隼平 <コイ 77cm(叉長)>
ライズした一瞬を逃さずにキャストしてヒットさせました。強力な引きに自己記録更新魚と確信し、無事にキャッチできて良かったです

JUNIOR RECORD <ジュニア日本記録>

<アオチビキ> JOBFISH, green / *Aprion virescens*

●M/ジュニア ●2.84kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<アザハタ> HIND, tomato / *Cephalopholis sonneratii*

●M/ジュニア ●1.80kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<アマミフエフキ> EMPEROR, trumpet / *Lethrinus miniatus*

●M/ジュニア ●0.70kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<オジロバラハタ> LYRETAIL, white-edged / *Variola albimarginata*

●M/ジュニア ●1.00kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<カマスサワラ> WAHOO / *Acanthocybium solandri*

●M/ジュニア ●17.60kg ●茨城県大洗沖 ●2023/9/18 ●石川 慶空 ●アイヌジーフィッシングクラブ ●ING

J

<キヘリモンガラ> TRIGGERFISH, yellowmargin / *Pseudobalistes flavimarginatus*

●M/ジュニア ●3.50kg ●鹿児島県奄美大島国直海岸 ●2023/10/19 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<シロダイ> BREAM, japanese large-eye / *Gymnocranius euanus*

●M/ジュニア ●1.30kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<ハナビラウツボ> MORAY, whitemouth / *Gymnothorax chlorostigma*

●M/ジュニア ●0.90kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<ヒブダイ> PARROTFISH, blue-barred / *Scarus ghobban*

●M/ジュニア ●2.11kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<ヒラニザ> SURGEONFISH, elongate / *Acanthurus mata*

●M/ジュニア ●1.40kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<ミナミハコグフ> BOXFISH, yellow / *Ostracion cubicum*

●M/ジュニア ●0.94kg ●鹿児島県奄美大島名瀬港 ●2023/9/8 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<ユカタハタ> HIND, coral / *Cephalopholis miniata*

●M/ジュニア ●0.90kg ●鹿児島県奄美大島大和村 ●2023/10/9 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J

<コバンアジ> DART, small spotted / *Trachinotus baillonii*

●M/ジュニア ●0.46kg ●東京都新島村羽伏浦漁港 ●2023/10/8 ●三好 健斗 ●ジュニア会員

J

<クサヤモロ> SCAD, mackerel / *Decapterus macarellus*

●M/ジュニア ●0.67kg ●東京都新島村羽伏浦漁港 ●2023/10/9 ●三好 健斗 ●ジュニア会員

J

<オオウナギ> Eel, marbled / *Angilla marmorata*

●M/ジュニア ●3.11kg ●鹿児島県奄美大島新川 ●2023/12/7 ●重武 凪 ●ファミリー会員

J



石川 慶空 <カマスサワラ 17.60kg>
J.B.Cの三日目に釣れました



三好 健斗 <コバンアジ 0.46kg>
回遊するサメに魚を奪われないように必死にリールを巻きました



重武 凪 <オオウナギ 3.11kg>
引きが強く、針が伸ばされました

10LB SEABASS CLUB <10ポンド シーバスクラブ>

<スズキ> SEABASS, Japanese (suzuki) / *Lateolabrax japonicus*

●10g(20lb)クラス ●4.66kg ●千葉県木更津市金田見立海岸 ●2023/10/28 ●永井 光一 ●レギュラー会員

CR

<スズキ> SEABASS, Japanese (suzuki) / *Lateolabrax japonicus*

●37g(80lb)クラス ●5.70kg ●千葉県富津沖 ●2023/10/1 ●出野 晴信 ●サバロ ●オブセッション

CR

<スズキ> SEABASS, Japanese (suzuki) / *Lateolabrax japonicus*

●37g(80lb)クラス ●5.55kg ●千葉県富津沖 ●2023/10/1 ●出野 晴信 ●サバロ ●オブセッション

CR

<スズキ> SEABASS, Japanese (suzuki) / *Lateolabrax japonicus*

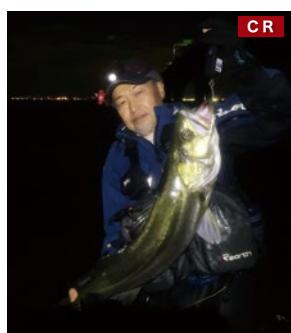
●24g(50lb)クラス ●4.96kg ●千葉県富津市 ●2023/12/10 ●堀江 幸雄 ●ファイティングロッダーズ

TR

<スズキ> SEABASS, Japanese (suzuki) / *Lateolabrax japonicus*

●24g(50lb)クラス ●5.11kg ●千葉県富津市 ●2023/12/13 ●堀江 幸雄 ●ファイティングロッダーズ

TR



永井 光一
<スズキ 4.66kg>
下げる8分で入水。超遠投で4.4kgと4.6kgを2連発! 重量感のある良いファイトを存分に楽しめました



出野 晴信 <スズキ 5.70kg>
同日に2本目の10ポンドシーバス。海と魚とキャブテン、そして同船してくれた仲間に感謝しかありません



堀江 幸雄 <スズキ 4.96kg>
ここ数年は釣れても600m台。岸からはダメかと思っていたところ、7年ぶりの10Lbオーバー。感動で体が震えました

200KG CLUB <200キロクラブ>

<シロカジキ> MARLIN, black / *Makaira indica*

●24kg(50lb)クラス ●264.20kg ●三重県大王崎沖 ●2023/8/26 ●白木 孝幸 ●レギュラー会員 ●中日本Mahalo



白木 孝幸
<シロカジキ 264.20kg>
地元のローカル大会での釣果(事務局より:オールタップルの記録と同じ魚です)



METER OVER CLUB <メーターおーバークラブ>

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idellus*

●10kg(20lb)クラス ●114cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2023/11/18 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<ソウギョ> CARP, grass / *Ctenopharyngodon idellus*

●10kg(20lb)クラス ●115cm(全長) ●埼玉県元荒川 ●2023/12/12 ●竹内 尚哉 ●レギュラー会員

CR

<アカメ> LATES, Japanese(akame) / *Lates japonicus*

●37kg(80lb)クラス ●103cm(全長) ●高知県四万十市四万十川 ●2023/12/13 ●新居 浩史 ●レギュラー会員

TR



竹内 尚哉
<ソウギョ 115cm(全長)>
高活性な日でヤル気満々なソウギョがすぐに釣れました



新居 浩史
<アカメ 103cm(全長)>
明るくなつてからヒットしたので、ファイトを全て見ることができました

オールジャパン・ゲームフィッシングコンテスト2023

ALL JAPAN GAME FISHING CONTEST

最終結果発表！



男性部門・海水
平松雅直さん・マダイ4.40kg



男性部門・海水
松本修さん・シロアマダイ3.38kg



男性部門・海水
久保高広さん・チカメキントキ3.57kg



男性部門・海水
前園嵩吾さん・イシガキダイ9.64kg

各魚種、1位のみを掲載しました。

《男性部門・海水》

申請No.	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
224	男性	アイナメ	0.85	菊池 晃成	岩手県宮古市神林漁港	2023/12/25	6	
66	男性	アカムツ	0.55	西野 勇馬	神奈川県小網代沖	2023/4/27	24	サン・リリー
162	男性	アジアコショウダイ	1.27	坂本 幸博	鹿児島県口永良部島	2023/9/16	60	
176	男性	アセウツボ	1.65	坂本 幸博	沖縄県宮古島友利博愛漁港	2023/9/30	24	
104	男性	アラ	0.45	西野 勇馬	神奈川県小網代沖	2023/5/26	24	第15号丸十丸
108	男性	イケカツオ	1.50	鈴木 正輝	鹿児島県屋久島尾ノ間 魚待の瀬	2023/6/22	8	
39	男性	イシガキダイ	9.64	前園 嵩吾	鹿児島県佐多岬	2023/2/23	60	丸好丸
90	男性	イシフエイ	0.65	前田 稔	東京都小笠原母島	2023/5/10	6	Hフォース丸
155	男性	イチハリロウドサメ	5.20	西野 勇馬	神奈川県江の島沖	2023/9/3	24	サン・リリー
70	男性	イトヒキオキハギ	0.50	浅野 俊吾	鹿児島県喜界島喜界空港沖水深60m	2023/5/13	24	天人菊
97	男性	イトヨリダイ	0.85	平松 雅直	大分県大分市一尺屋沖	2023/6/10	10	King Fish
10	男性	イバラビゲ	1.75	西野 勇馬	神奈川県真鶴沖	2023/1/12	24	サン・リリー
166	男性	イヤゴハタ	8.64	高沼 祥	東京都神津島銭座海域	2023/9/23	37	とび島丸
23	男性	インドカイワリ	0.93	山田 帝汰	鹿児島県熊毛郡屋久島町西部の地磯	2023/2/10	24	
203	男性	ウチワフグ	1.15	浅野 俊吾	鹿児島県沖永良部島伊延港沖水深175m	2023/11/5	24	第二なぎさ丸
216	男性	ウメイロ	0.91	坂本 幸博	鹿児島県奄美大島加計呂麻島沖	2023/11/25	15	みなみ丸 II
46	男性	オオスジハタ	4.05	竹村 浩昭	高知県室戸沖	2023/3/20	10	タイダルストリームPK37
218	男性	オキザヨリ	3.62	原 宗一郎	鹿児島県屋久島町尾之間	2023/12/6	37	
227	男性	オシロバハタ	1.25	坂本 幸博	鹿児島県喜界島荒木沖	2023/12/24	15	LEON II
163	男性	オスジクロハギ	0.64	坂本 幸博	鹿児島県奄美大島古仁屋港	2023/9/24	24	
88	男性	オニカマス	1.85	前田 稔	東京都小笠原母島	2023/5/8	3	
11	男性	オニヒゲ	1.00	西野 勇馬	神奈川県真鶴沖	2023/1/12	24	サン・リリー
49	男性	オビヅダイ	1.07	坂本 幸博	鹿児島県屋久島吉田堤防	2023/3/16	24	
26	男性	カメレオンブダイ	0.75	坂本 幸博	鹿児島県屋久島永田堤防	2023/2/5	24	
91	男性	ガラバゴスザメ	8.20	前田 稔	東京都小笠原母島	2023/5/10	24	
47	男性	カンムリペラ	1.81	坂本 幸博	鹿児島県屋久島吉田堤防	2023/3/16	24	
35	男性	ギス	0.75	西野 勇馬	神奈川県葉山沖	2023/2/16	24	サン・リリー
112	男性	キヌ	1.41	田村 茂一	広島県安芸郡海田町瀬野川	2023/6/3	1	
177	男性	キツネベラ	0.93	坂本 幸博	鹿児島県喜界島中熊沖水深40M	2023/10/9	15	天人菊
53	男性	キハダ	39.52	増田 大輔	東京都神津島福苗	2023/3/27	15	賀寿丸
213	男性	キュウセンフエイ	0.62	坂本 幸博	鹿児島県奄美大島加計呂麻島沖	2023/11/25	15	みなみ丸 II
84	男性	ギンザメ	1.80	西野 勇馬	神奈川県小網代沖水深201m	2023/5/15	24	サン・リリー
160	男性	クマドリ	0.50	坂本 幸博	鹿児島県口永良部島	2023/9/16	24	
56	男性	クログチ	1.80	浅野 俊吾	大分県佐賀関港沖ホゴ瀬水深200m	2023/3/31	24	釣吉丸
132	男性	クロダイ	2.97	東辻 雄平	東京都中央区黎明橋公園前	2023/7/19	3	
16	男性	クロハギ	0.62	坂本 幸博	鹿児島県屋久島永田堤防	2023/1/22	24	
134	男性	クロホシフエイ	2.03	竹村 浩昭	高知県室戸沖	2023/7/28	10	マック号(カヤック)
129	男性	クロモンガラ	0.56	坂本 幸博	鹿児島県喜界島空港沖	2023/7/4	24	天人菊
5	男性	コクハンアラ	22.52	森山 祐樹	東京都小笠原村母島地磯	2023/1/15	37	
109	男性	コトヒキ	0.72	竹村 浩昭	高知県室戸沖水深20m	2023/6/17	10	マック号(カヤック)
48	男性	ゴマウツボ	5.55	坂本 幸博	鹿児島県屋久島吉田堤防	2023/3/16	60	
133	男性	ゴマモンガラ	5.00	和氣 恒久	沖縄県沿岸の浜	2023/7/11	10	
114	男性	サガミザメ	8.50	西野 勇馬	神奈川県葉山沖	2023/6/17	24	サンリリー
126	男性	サザナミトサカハギ	0.52	坂本 幸博	鹿児島県奄美大島古仁屋港	2023/7/3	24	
159	男性	ササムロ	0.57	坂本 幸博	鹿児島県口永良部島	2023/9/16	24	
157	男性	サワラ	2.65	平松 雅直	大分県佐伯市大入島沖	2023/9/16	15	レンタルポート大分
14	男性	シロアマダイ	3.38	松本 修	大分県別府湾	2023/1/5	15	第一 soyamaru
164	男性	シロカジキ	264.20	白木 孝幸	三重県大王崎沖	2023/8/26	24	中日本Mahalo

男性部門・海水
上口亮一さん・センネンダイ21.14kg男性部門・淡水
奥田直人さん・ニジマス5.40kg女性部門・海水
諫山綾香さん・ミナミクロダイ1.84kg女性部門・海水
石志梢さん・バショウカジキ34.90kg

各魚種、1位のみを掲載しました。

《男性部門・海水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
6	男性	シロギチ	1.08	福岡 勝	佐賀県辰巳港菖蒲津沖止波	2023/1/15	8	蒼陽丸
229	男性	シロダイ	1.95	坂本 幸博	鹿児島県喜界島荒木沖	2023/12/24	15	レオン II
15	男性	スジブダイ	1.35	坂本 幸博	鹿児島県屋久島永田堤防	2023/1/22	24	
222	男性	スズキ	5.11	堀江 幸雄	千葉県富津市	2023/12/13	24	
24	男性	センニンフグ	4.20	山田 帝汰	鹿児島県熊毛郡屋久島町安房冲堤防	2023/2/4	37	
135	男性	センネンダイ	21.14	上口 亮一	東京都小笠原北ノ島一ノ岩	2023/8/3	37	泰丸
107	男性	ソウハチ	1.05	浅野 俊吾	北海道浜厚真沖水深15M	2023/6/16	24	釣船 あまちゃん
127	男性	タキベラ	2.52	坂本 幸博	鹿児島県喜界島空港沖	2023/7/4	24	天人菊
79	男性	タチガミエフフキ	3.34	坂本 幸博	沖縄県宮古島パナリ干瀬沖水深60m	2023/5/7	24	Sea-son's 新静丸
217	男性	タテミヤキンチャクダイ	0.48	坂本 幸博	鹿児島県奄美大島古仁屋港	2023/11/24	24	
80	男性	タマメイチ	0.90	坂本 幸博	沖縄県宮古島パナリ干瀬沖水深60m	2023/5/7	24	Sea-son's 新静丸
86	男性	タロウザメ	7.95	西野 勇馬	神奈川県小網代沖水深600m	2023/5/12	24	FAST23
100	男性	チカメキントキ	3.57	久保 高広	山口県萩市見島八里ヶ瀬周辺	2023/5/22	10	さくら丸
13	男性	チゴダラ	0.95	西野 勇馬	神奈川県江ノ島沖約400m	2023/1/15	24	FAST 23
184	男性	チャイロマルハタ	22.89	米澤 徹	鹿児島県鹿屋市高須沖	2023/10/7	60	あき丸
61	男性	ツツッパリサギ	0.90	佐々木 好二	沖縄県宮古島市	2023/4/10	8	
178	男性	ツムブリ	3.62	福田 高志	高知県宿毛市沖の島	2023/9/23	8	
27	男性	ツユベラ	0.47	坂本 幸博	鹿児島県屋久島永田堤防	2023/2/5	24	
226	男性	テンジクイサキ	1.80	坂本 幸博	鹿児島県喜界島荒木海岸	2023/12/23	24	
40	男性	トウジン	0.80	西野 勇馬	神奈川県荒崎沖	2023/2/20	24	サン・リリー
148	男性	ナメモングラ	0.50	坂本 幸博	東京都八丈島抜舟の場	2023/8/25	24	
161	男性	ニジョウサバ	1.48	坂本 幸博	鹿児島県口永良部島	2023/9/16	24	
89	男性	ネムリブカ	11.05	前田 穂	東京都小笠原母島	2023/5/9	4	
51	男性	ノトイズズミ	1.64	坂本 幸博	鹿児島県屋久島永田堤防	2023/3/18	24	
29	男性	ハクセイハギ	0.77	坂本 幸博	鹿児島県奄美大島古仁屋港	2023/2/19	24	
197	男性	ハマダツ	1.00	坂本 幸博	沖縄県残波岬	2023/10/29	24	
175	男性	ヒブダイ	0.94	坂本 幸博	沖縄県宮古島利博愛漁港	2023/9/30	24	
30	男性	ヒメアイゴ	0.48	坂本 幸博	鹿児島県奄美大島古仁屋港	2023/2/19	24	
174	男性	ヒレタカソノザメ	1.34	坂本 幸博	鹿児島県奄美大島大島海峡東沖水深260m	2023/9/24	37	みなみ丸II
130	男性	フサギンポ	0.49	坂本 幸博	北海道勇払沖水深30m	2023/7/17	10	あまちゃん
50	男性	ブチブダイ	0.96	坂本 幸博	鹿児島県屋久島吉田堤防	2023/3/17	24	
103	男性	フトツノザメ	9.45	西野 勇馬	神奈川県小網代沖	2023/5/26	24	15号丸十九
65	男性	ブリ	5.28	竹村 浩昭	高知県室戸沖	2023/4/20	10	マック号
116	男性	ヘラツノザメ	2.45	西野 勇馬	神奈川県葉山沖	2023/6/21	24	サンリリー
204	男性	ホオアカクチビ	1.30	浅野 俊吾	鹿児島県喜界島手久津久沖水深60M	2023/10/28	24	天人菊
183	男性	ボラ	3.57	田村 純一	広島県安芸郡海田町瀬野川	2023/10/22	6	
121	男性	マゴチ	1.95	原瀬 平	島根県隠岐の島西瀬戸	2023/7/5	1	
119	男性	マダイ	4.40	平松 雅直	大分県佐伯市大入島沖	2023/7/2	10	レンタルボート大分
168	男性	マルクチヒメジ	1.45	浅野 俊吾	鹿児島県喜界島手久津久沖水深60M	2023/9/29	24	天人菊
215	男性	ミンサーーフエキ	0.83	坂本 幸博	鹿児島県奄美大島加計呂麻島沖	2023/11/25	15	みなみ丸 II
94	男性	ムネアカクチビ	5.35	山田 帝汰	鹿児島県屋久島町口永良部島湯向堤防	2023/5/13	60	
68	男性	モミジザメ	17.60	西野 勇馬	神奈川県小網代沖	2023/4/27	24	サン・リリー
230	男性	モンガラカワハギ	0.80	坂本 幸博	鹿児島県口永良部島	2023/9/16	24	
158	男性	ヤイトハタ	1.39	坂本 幸博	沖縄県北谷海岸	2023/9/9	24	
170	男性	ユカタハタ	0.84	竹村 浩昭	高知県宿毛沖水深20m	2023/10/11	10	Hobie Mirage Adventure
55	男性	ユメカサゴ	0.77	野崎 真紀	和歌山県那智勝浦沖	2023/3/8	24	シーカーズ
115	男性	ユメザメ	2.90	西野 勇馬	神奈川県葉山沖	2023/6/17	24	サンリリー
128	男性	リュウキュウアカヒメジ	0.48	坂本 幸博	鹿児島県喜界島空港沖	2023/7/4	24	天人菊
152	男性	リュウキュウヒメジ	0.61	坂本 幸博	鹿児島県大島郡瀬戸内町与路島、加計呂麻島の間	2023/7/2	24	みなみ丸II

《男性部門・淡水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
58	男性	アマゴ(サツキマス)	0.62	田村 純一	広島県山県郡聖湖	2023/4/1	8	
123	男性	アメリカナマズ	5.15	竹内 尚哉	埼玉県元荒川	2023/7/18	4	
124	男性	カムルチー	1.64	田村 純一	広島県東広島市黒瀬川	2023/7/2	24	
82	男性	ゲンゴロウブナ	2.40	奥山 文弥	神奈川県芦ノ湖	2023/5/11	2	
142	男性	コイ	10.30	田村 純一	島根県鹿足郡大田町	2023/8/18	37	
140	男性	コウライニゴイ	2.91	田村 純一	広島県大竹市玖島川	2023/8/14	8	
73	男性	コクチバス	2.72	石井 勝也	福島県猪苗代湖北岸	2023/5/4	10	スキーターZX195
210	男性	ソウギョ	18.42	竹内 尚哉	埼玉県元荒川	2023/11/18	10	



ジュニア・海水
菊池晃成さん・オウゴンムラソイ0.55kg



ジュニア・海水
重武凪さん・ドクツツボ2.20kg



ジュニア・海水
木下煌生さん・キジハタ2.21kg



ジュニア・淡水
竹内あやなさん・コイ3.55kg

《男性部門・淡水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
57	男性	ダンツトウボウ	1.10	平井 忠	茨城県霞ヶ浦	2023/4/8	6	
150	男性	ニジマス	5.40	奥田 直人	北海道洞爺湖	2023/8/19	8	
92	男性	ハクレン	17.97	下畠 剣一郎	茨城県利根川	2023/6/4	10	
64	男性	ブラウントラウト	2.56	三上 隼平	神奈川県芦ノ湖	2023/4/2	3	

《女性部門・海水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
201	女性	アオスジモンガラ	0.85	浅野 法子	鹿児島県串良部島伊延港沖水深60m	2023/11/3	24	第二なぎさ丸
199	女性	アマミフエフキ	1.65	浅野 法子	鹿児島県喜界島手久津久沖水深60M	2023/10/26	24	天人菊
99	女性	イセゴイ	1.00	諫山 綾香	鹿児島県奄美大島	2023/6/5	6	
169	女性	イトヒキオキハギ	1.15	浅野 法子	鹿児島県喜界島手久津久沖水深50M	2023/9/30	24	天人菊
179	女性	オオニベ	0.60	佐々木 愛	千葉県飯岡沖	2023/10/22	10	第18隆正丸
31	女性	オオヒメ	1.95	浅野 法子	鹿児島県喜界島喜界空港沖	2023/2/23	24	天人菊
202	女性	オジロバラハタ	1.25	浅野 法子	鹿児島県喜界島手久津久沖水深60M	2023/10/28	24	天人菊
149	女性	クロダイ	1.70	中井 遥子	神奈川県川崎市西扇島沖	2023/8/13	4	シークロ
146	女性	シロカジキ	124.00	三枝 久美恵	宮城県金華山沖	2023/8/27	60	フォワード
105	女性	ソウハチ	0.80	浅野 法子	北海道浜厚真沖	2023/6/16	24	釣船 あまちゃん
165	女性	バショウカジキ	34.90	石志 梢	鹿児島県阿久根沖	2023/9/10	15	アルカディア
206	女性	ボラ	3.20	山本 蒼美	広島県太田川放水路	2023/11/4	10	
96	女性	マツカワ	1.10	浅野 法子	北海道室蘭沖水深12m	2023/6/6	24	ラブーン
9	女性	ミナミクロダイ	1.84	諫山 綾香	鹿児島県奄美大島瀬戸内町	2023/1/12	W-8	
200	女性	モンガラカワハギ	0.90	浅野 法子	鹿児島県喜界島手久津久沖水深60M	2023/10/26	24	天人菊
122	女性	ヨスジフェダイ	0.50	浅野 法子	鹿児島県大島郡和泊町瀬名沖水深25m	2023/7/14	24	第二福丸

《女性部門・淡水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
131	女性	ニジマス	1.30	中井 遥子	山梨県桂川	2023/7/14	3	
83	女性	ブラウントラウト	1.33	奥山 幸代	神奈川県芦ノ湖	2023/5/18	1	

《ジュニア部門・海水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
223	ジュニア	アイナメ	0.79	菊池 晃成	岩手県宮古港藤原埠頭	2023/12/19	8	
188	ジュニア	アオチビキ	2.84	重武 凪	鹿児島県奄美大島大和村	2023/10/9	37	
190	ジュニア	アザハタ	1.80	重武 凪	鹿児島県奄美大島大和村	2023/10/9	37	
195	ジュニア	アマミフエフキ	0.70	重武 凪	鹿児島県奄美大島大和村	2023/10/9	37	
120	ジュニア	オウゴンムラソイ	0.55	菊池 晃成	岩手県宮古市神林漁港	2023/7/11	8	
192	ジュニア	オジロバラハタ	1.00	重武 凪	鹿児島県奄美大島大和村	2023/10/9	37	
167	ジュニア	カマスサワラ	17.60	石川 慶空	茨城県大洗沖	2023/9/18	37	ING
69	ジュニア	キジハタ	2.21	木下 真生	島根県隠岐郡西ノ島沖	2023/5/4	15	優心
186	ジュニア	キヘリモングラ	3.50	重武 凪	鹿児島県奄美大島国直海岸	2023/10/19	60	
20	ジュニア	ギンガメアジ	2.40	重武 凪	鹿児島県奄美大島瀬戸内町久根津	2023/2/8	24	
180	ジュニア	クサヤモロ	0.67	三好 健斗	東京都新島村羽伏浦漁港	2023/10/9	15	
138	ジュニア	クロソイ	0.68	菊池 晃成	岩手県宮古港	2023/8/7	8	
137	ジュニア	クロダイ	0.60	木下 真実	長崎県川棚港	2023/8/18	10	
181	ジュニア	コバンアジ	0.46	三好 健斗	東京都新島村羽伏浦漁港	2023/10/8	15	
187	ジュニア	シロダイ	1.30	重武 凪	鹿児島県奄美大島大和村	2023/10/9	37	
37	ジュニア	ドクツツボ	2.20	重武 凪	鹿児島県奄美大島名瀬長浜町	2023/2/18	37	
191	ジュニア	ハナビラツツボ	0.90	重武 凪	鹿児島県奄美大島大和村	2023/10/9	37	
189	ジュニア	ヒヅダイ	2.11	重武 凪	鹿児島県奄美大島大和村	2023/10/9	37	
182	ジュニア	ヒラソウダ	1.00	三好 健斗	東京都新島村羽伏浦漁港	2023/10/29	15	
194	ジュニア	ヒラニザ	1.40	重武 凪	鹿児島県奄美大島大和村	2023/10/9	37	
219	ジュニア	ヘラヤガラ	1.00	三好 健斗	東京都新島村羽伏浦漁港	2023/11/11	15	
93	ジュニア	マダイ	4.48	三好 健斗	東京都新島村羽伏浦漁港	2023/6/10	15	
38	ジュニア	ミナミクロダイ	2.40	重武 凪	鹿児島県奄美大島瀬戸内町久根津	2023/2/23	24	
185	ジュニア	ミナミハコフグ	0.94	重武 凪	鹿児島県奄美大島名瀬港	2023/9/8	15	
193	ジュニア	ユカタハタ	0.90	重武 凪	鹿児島県奄美大島大和村	2023/10/9	37	

《ジュニア部門・淡水》

申請No	部門	魚種名	魚体重(kg)	氏名	釣場	釣った日	ラインクラス(kg)	ポート名
225	ジュニア	オオウナギ	3.11	重武 凪	鹿児島県奄美大島新川	2023/12/7	37	
113	ジュニア	コイ	3.55	竹内 あやな	東京都柳瀬川	2023/6/24	4	

SEABASS C&R PHOTO CONTEST RESULT シーバスC&Rフォトコン 結果発表!

去る2023年10月1日～11月30日の2ヶ月間にわたって全国を舞台に開催されました

「JGFA×VARIVAS シーバスC&Rフォトコンテスト」が終了しました。

全国No.1は、利根川で釣られた叉長88cmでした!!

詳細および結果ダウンロードは、JGFAウェブサイトのHOT NEW コーナーからどうぞ!



ルアー全国総合優勝魚は、10/11に利根川でキャッチ!
関東＆中部ブロックでも優勝。神谷和伸さんの叉長88cmは、リリースを意識し写真撮影は迅速に行ったそうです



フライ全国総合優勝は、東京湾で大坪豊和さんが釣った叉長80cm。ポートからボッパーを使い見事に釣りあげました



北海道＆東北＆信越・男性の部優勝は、秋田県の船越水道で北村祐紀さんが釣った叉長80cm! ワカサギ&白魚パターンを攻略しての釣果でした



関東＆中部ブロック・女性の部で優勝を収めたのは、長田茜さんが鶴見川で釣った叉長82cm! 自己新記録、タグ&リリースも行っていただきました



北陸＆山陰ブロック・男性の部で優勝したのは、石川県犀川で橋宏樹さんが釣った叉長75cm。昨年に続き北陸・山陰ブロック連覇です!



江口太一さんが大阪湾で釣った叉長82cmが、近畿＆山陽＆四国ブロック・男性の部で1位となりました! 「大阪湾奥で80オーバー。狙っていてもなかなか出ないボラ喰い個体。頭がデカくてカッコよかったです」



九州＆沖縄ブロック・ジュニアの部で優勝したのは、兵頭玲王さんが釣った叉長57cm!

ASSOCIATE MEMBER LIST

賛助会員メンバーズ・リスト



ユニコーン エンジニアリング(株)



賛助会員募集 「いい釣りをいつまでも。」をスローガンに、スポーツフィッシングの普及を目指すJGFAをぜひサポートしてください。

- 特典**
- 1.賛助会員主催のイベントを後援します。(ただし後援規定に基づくイベント)
 - 2.実費プラス手数料で、会社パンフ、アンケートなどを会員に発送するDMサービスをご利用いただけます。
 - 3.JGFAイヤーブックに紹介記事が載ります。
 - 4.JGFA NEWS年4回発行の会報とホームページにロゴマークが載ります。
 - 5.代表者と担当者の2名は、JGFA及びIGFAの会員として登録されます。
 - 6.代表者は、JGFAのパーティーにご招待します。

会費 1口 100,000円(1口以上)

備考 代表者と担当者以外で、会員登録を希望する企業内の方は、年会費6,000円を加算いただければクラブメンバーと同様の特典が得られます。

問い合わせ先:JGFA事務局 ☎03-6280-3950

タグ購入代金カンパにご協力を

皆様がお使いのアンカー式スパゲティタグもダートタグSも、協会が購入する原価でセットあたり2000円します。年間500セットほど皆様に配布いたしておりますので、単純計算で100万円、ちょっとした金額です。そこで皆様にお願いです。クラブ主催のトーナメント、パーティ、忘年会などの機会を捉えて募金箱を回し、「タグ&リリース活動資金カンパ」を行っていただけませんでしょうか。もちろん、個人や企業の皆様からのご寄付もよろこんでお受けいたします。ゲームフィッシュの生態解明のため、釣り人ができる大きな貢献であるタグ&リリースをこれからも継続し、私たちが資源保全に真剣であることを示すため、ぜひご協力をお願いいたします。お振込先の情報は以下のとおり、なにとぞ検討を。

銀行名:みずほ銀行 恵比寿支店
口座名:「タグ アンド リリース活動資金」
口座No:(普)1561275

タグ&リリース寄付者リスト

タグ&リリース活動資金にご寄付いただきましてありがとうございました。
心よりお礼申し上げます。引き続き募集しておりますので、
ご協力くださいますよう、お願ひいたします。(順不同・敬称略)

	タグ&リリース寄付者リスト	
2024/1/30	長舗 肇一郎(TRUE BLUE Fishing Club)	19,000
2024/2/9	013 クラブピッグワンズ	20,000
2024/2/14	長舗 肇一郎(TRUE BLUE Fishing Club)	19,000
		合計:58,000